



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：女性弁護士の誕生

(10月7日付ハヤート紙ほか)

7日付ハヤート紙、イクティサーディーヤ紙、および英字紙アラブ・ニューズ紙は、サウジアラビア司法省が、女性にはじめて弁護士免許を発行したと報じた。

1. 6日、司法省は4人のサウジ人女性に対して、初めて弁護士免許を発行した（有効期限5年）。今まで、弁護士事務所は法律学科を卒業した女性たちをリーガル・コンサルタントとして雇用していた。この役職だと法廷で弁護士としての業務を遂行できず、また弁護士事務所を開業することも許されなかったが、この決定により可能となる。
2. 同省の動きは、家庭裁判所に大きな影響をもたらしている。女性たちは離婚調停に関して、男性側に有利な制度であると長い間抗議してきた。今後、女性顧客たちは女性弁護士を通して、自分たちの立場を主張できることとなる。
3. 2013年4月、同省は女性弁護士を研修員としてはじめて登録した。また、リーガル・コンサルタントとして働いている女性は全国に2,500人程度いると言われている。
4. 今後、解決すべき点として、弁護士免許が与えられた女性たちが法廷での差別からどのように守られていくかという点と、職務を遂行するために自由に移動することができるかという点である。
5. 今回免許が交付された一人であるバヤーン・ザフラン女史は、近い将来、女性による弁護士事務所を開業するとした上で、「この免許は私たちの権利であり、アブドゥッラー国王が最大の支持者であることを皆知っている。（国王は）私たちが今後この国に仕えるための道を照らしてくれた。これから女性と男性の弁護士の間に差別はなくなるだろう」と述べた。同女史は法律機関で3年間研修を積み、今回の免許を取得した。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799